今月のプレゼント

アンケートに答えると、抽選でプレゼントが当たります。
詳細は、ホームページで ID 30350



抽選 3名様

髙橋宏斗投手サインボール

本市出身の髙橋宏斗投手には、昨年リニューアル号(5月号)の特集で取材をさせていただきました。1周年を迎える今号で、直筆のサインボールを抽選で3名様にプレゼント! 当選者のかたのお名前も記入していただきます。

今号でリニューアル1周年を迎えました。
これまでたくさんのご意見をいただき、中でも
飲食店の情報が知りたい
といった内容が多かったため、今回のアンケートでは、
今後広報誌で飲食店の情報を掲載することについて、
アンケートを行います。

広報おわりあさひアンケート

① **広報誌に市内飲食店の情報を掲載することへのご意見**をお聞かせください。
② **掲載する場合、取り上げてほしい内容**を教えてください。
③ その他、**髙橋投手へのエールや広報誌に関するご意見**をお聞かせください。

応募方法 5/15(木) 締め切り

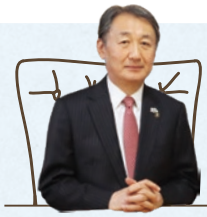
①～③の答え、氏名・ふりがな、住所、電話番号、年齢を記入し、ハガキ(必着)かメール、右記二次元コードで

申し込みフォーム▶

メール:kouhou@city.owariasahi.lg.jp
郵送先:〒488-8666(住所不要)広報戦略課

当選者のかたには、メールなどでお知らせ。プレゼントの受け渡しは、準備が出来次第、尾張旭まち案内で行います。

尾張旭まち案内 グリーンシティビル1階
10:00～18:00 定休日:木曜日(祝・休日を除く)



MAYOR SHIBATA COLUMN

ID 34636

柴田市長コラム

足下に泉あり! vol.24



「医は仁術」という矜持

先月に続き、私の闘病ネタです。日本人が「医の倫理」と問われれば、「医は仁術」という格言が浮かびます。

主治医の先生は、2カ月間の入院期間のほぼ毎日、病室へ顔を出してくださいました。申し訳なくてお聞きすると、患者を心配しながら自宅で休日を過ごすより、10分でも診に出てきた方が、気が楽とのこと。「何年もそうした生活ですから」と、さらっと言われるのですが、何とも正に「仁」ですね。人命の最後のとりでとしての重責を、日々の普通のこととして受け入れておられる矜持に脱帽します。病状回復が実感できない日の「今日は良いですね」、気になる点の質問には「問題ありませんよ」の一言がどれだけ心強かったか。

また、看護師さんたちも想像以上に大変な日常です。特に外科では、術後、患者は体が動かせず、やむを得ず排せつ物などの汚物処理でお世話になります。「遠慮なくいつでも言ってください。誰でも当たり前のことですから」と明るく言われると、「そうだな。仕方ないよな」と、羞恥心を飲み込んで開き直ることができました。

コロナ禍の折、世間は医療従事者の皆さんをエッセンシャルワーカーと呼び、深い敬意を表しました。改めて、平時も変わることのない献身的な姿勢に、感動と共に感謝します。

最後に、江戸時代の医学者・教育者である緒方洪庵の「医戒」を紹介します。

「医師がこの世に存在している意義は、ひとすじに他人のためであり、自分自身のためではない。これが、この業の本旨である。ただおのれをすてて人を救わんことをのみ希うべし」

医療という生業は、時代を超えてかくも崇高なのです。

P.S. 健康診断、できれば人間ドックを受けましょう。技術も薬も日進月歩、現代ではほとんどの病気が治療可能です。ただし、早期の発見が必須条件ですよ。



本市出身イラストレーター「酒井だんごむし」さん作